令和6年10月吉日

保護者の皆様

札幌市立藤野中学校

校長 小田島 潔恵

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果について

日頃より本校の教育活動に温かい御理解と御協力をいただき心から感謝申し上げます。

さて、本年度4月に実施されました標記の調査につきまして、文部科学省から届いた調査結果をもとに、本校において、生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるために分析を進めてまいりました。このほど、分析結果がまとまりましたので、その概要について保護者の皆様にお知らせいたします。

なお、本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることを御理解いただけますようお願いいたします。

1 調査の概要

(1)調査の目的

全国学力・学習状況調査は、以下①・②の取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的として実施されています。

①義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

②学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

(2)調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

(3)調査の内容

①教科に関する調査(国語、算数・数学)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

*調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査(アンケート)

- ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

(4)調査実施日 令和6年4月18日(木)

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果について

4月18日に実施された、標記調査結果の概要についてお知らせいたします。なお、分析にあたってはそれぞれの領域ごとに本校の正答率と全国平均を比較しました。その結果を、以下のような言葉で5段階に示しています。

- ・全国平均との差が、+3.1ポイント以上 →「上回っている。」
- ・全国平均との差が、+3.0～+0.1ポイント →「ほぼ同程度であるが、やや上回っている。」
- ・全国平均と同じ →「同程度である。」
- ・全国平均との差が、-3.0～-0.1ポイント →「ほぼ同程度であるが、やや下回っている。」
- ・全国平均との差が、-3.1ポイント以下 →「下回っている。」

【中学校国語】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【学習指導要領の内容】</p> <ul style="list-style-type: none">●知識及び技能<ul style="list-style-type: none">■「言葉の特徴や使い方に関する事項」 →全国平均を上回っている。■「情報の扱い方に関する事項」 →全国平均を上回っている。■「我が国の言語文化に関する事項」 →全国平均を上回っている。●思考力、判断力、表現力等<ul style="list-style-type: none">■「話すこと・聞くこと」 →全国平均をやや下回っている。■「書くこと」 →全国平均をやや上回っている。■「読むこと」 →全国平均を、やや下回っている。 <p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none">■「知識・技能」 →全国平均を、上回っている。■「思考・判断・表現」 →全国平均を、やや上回っている。 <p>【問題形式】</p> <ul style="list-style-type: none">■「選択式」 →全国平均を、上回っている。■「短答式」 →全国平均を、やや上回っている。■「記述式」 →全国平均をやや上回っている。	<ul style="list-style-type: none">●資料を用いて、自分の考えがわかりやすく伝えるように話すこと。●話し合いの話題や展開を捉えて、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめること。●文章と図を結び付けて、内容を解釈すること。●表現の技法について理解すること。●描写をもとに、作品の内容を捉えること。	<ul style="list-style-type: none">●話すこと・聞くことにおいて、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討する活動の充実。●話すこと・聞くことにおいて、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫する活動の充実。●説明的な文章を読むことにおいて、文章と図表を結び付け、その関係を踏まえて、内容を解釈する活動の充実。●比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現技法を理解し使う活動の充実。●文学的な文章を読むことにおいて、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉える活動の充実。

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果について

4月18日に実施された、標記調査結果の概要についてお知らせいたします。なお、分析にあたってはそれぞれの領域ごとに本校の正答率と全国平均を比較しました。その結果を、以下のような言葉で5段階に示しています。

- ・全国平均との差が、+3.1ポイント以上 →「上回っている。」
- ・全国平均との差が、+3.0～+0.1ポイント →「ほぼ同程度であるが、やや上回っている。」
- ・全国平均と同じ →「同程度である。」
- ・全国平均との差が、-3.0～-0.1ポイント →「ほぼ同程度であるが、やや下回っている。」
- ・全国平均との差が、-3.1ポイント以下 →「下回っている。」

【中学校数学】

	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
中学校 数学	【学習指導要領の領域】 <ul style="list-style-type: none">■「数と式」の平均正答率 ・全国平均を下回っている。■「図形」の平均正答率 ・全国平均をやや下回っている。■「関数」の平均正答率 ・全国平均をやや上回っている。■「資料の活用」の平均正答率 ・全国平均をやや下回っている。	<ul style="list-style-type: none">●等式を目的に応じて変形すること。●回転移動についての理解。●統合的・発展的に考え、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明すること。	<ul style="list-style-type: none">○基礎・基本的な計算法則を理解し、定着するまで反復する活動の充実。○平行移動、回転移動及び対称移動について理解し、移動前と移動後の図形の関係について考察し表現する活動の充実。
	【評価の観点】 <ul style="list-style-type: none">■「知識・技能」 →全国平均をやや下回っている。■「思考・判断・表現」 →全国平均を下回っている。 【問題形式】 <ul style="list-style-type: none">■「選択式」 →全国平均をやや上回っている。■「短答式」 →全国平均をやや下回っている。■「記述式」 →全国平均を下回っている。	<ul style="list-style-type: none">●複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること。●複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較してみること。●事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。	<ul style="list-style-type: none">○図形の性質を帰納や類推によって予想し、文字式を用いて一般的に説明する活動の充実。○目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察して判断し、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する活動の充実。○具体的な問題を解決するために、事象における2つの数量の関係を1次関数とみなして未知の値を予測し、説明する活動の充実。